

ほけんだより

令和7年11月25日

No.9

札幌市立豊園小学校

インフルエンザ警報が継続中



札幌市では全市的な大流行が続いています。
本校は大きな流行は一旦落ち着いてはいますが、今週に入ってから新規の罹患連絡は入っている状態です。

報道では、現状流行中の A 型ウィルスの他に、A 型の変異株(サブクレード K)の増加も伝えられており、今後の動向が気になるところです。

音楽発表会も控えているので、元気に乗り切っていけたらと願っています。

【11月の本校の感染症状況】

～11/25現在

- ▶インフルエンザ A 型 61名
- ▶溶連菌
- ▶百日咳
- ▶水痘
- ▶マイコプラズマ肺炎

若干名

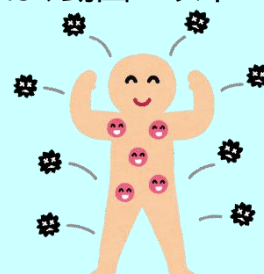
本日の保健の昼放送では

保健の昼放送「風邪やインフルエンザを予防しよう」では、動画で以下のことをお話しました。

☆インフルエンザの型と流行について

☆手洗い、マスク、咳エチケットなどが大切な理由

☆免疫力をあげるには(食事、睡眠、体を温める)



児童からは「手洗いのときに指先は意外に洗ってなかったから洗う！」などの感想が聞かれました。また、免疫力は常に一定ではないことも知ってもらい、生活のなかで免疫力を高く維持することを改めて意識してもらえたらと思いました。

コンコン

百日咳にご注意を



全国的に流行中ですが、札幌でも過去最高のペースで増えているようです。

☑特徴：乾いた激しい咳が2～6週間続く。長く咳込んだ後に「ヒューッ」と息を吸い込む音がすることもある。

☑出席停止になります。(特有の咳が消失するまで又は5日間の適切な抗菌薬療法が終了するまで)

念のため注意したい！

インフルエンザ時の異常行動

最近も報道で目にした方もいると思いますが、インフルエンザになると、抗ウイルス薬を服用したか否かにかかわらず、異常行動がおこる恐れがあります。

就学以降の子どもと未成年者の男性(女性も)で報告が多く、少なくとも発熱から2日間は注意が必要であることを厚生労働省も注意喚起をしています。

比較的大きくなってからでも(小学校高学年や中高生)でもインフルエンザの高熱の際に朦朧としていたり、家の中をうろうろするなどの経験談を耳にしました。年齢に関わらず注意が必要と感じます。

「厚生労働省 インフルエンザ 異常行動」で検索。
右の PDF 資料が見られます。一度ご覧ください。



登下校中の怪我が増える時期です



冬季になり、路面で滑って転倒するなど登下校時の怪我が増えます。
思わぬ強い打撲や、顔面の怪我につながりやすいので、ご家庭でも注意を促していただけたらと思います。

☆手袋・帽子
の着用



手や頭の怪我を防ぐ

☆ポケットに手を入れない
☆できるだけ両手がふさがら
ないような荷物の工夫



とつさに手が出て
身を守れるように

☆水筒の位置を配慮
(転倒時に腹部を圧迫
しない位置が望ましい)



水筒をランドセル横に
取り付けられるグッズ
などもある